

会 議 録

1 会議名

平成28年度第3回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1) 協 議（公開）

(1) 安塚区地域協議会としての審議内容について

2) 報 告（公開）

(1) 安塚区地域懇談会開催結果について

3) その他（公開）

(1) 平成28年度安塚区地域協議会視察研修について

3 開催日時

平成28年7月21日（木）午後7時00分から午後7時50分まで

4 開催場所

安塚区総合事務所3階301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：数井憲一（会長）、山岸重正（副会長）、池田嘉久、石田ひとみ、國保信夫

小松光代、中島勝義、中村真二、長谷川直樹、秦克博、松苗正二

・浦川原区総合事務所：山崎産業グループ長、小林建設グループ長

・事務局：安塚区総合事務所 山崎所長、竹内次長、横尾市民生活・福祉グループ長

（併教育・文化グループ長）、國保班長、高橋主任

（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【竹内次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・会議録の確認：數井憲一会長

【數井憲一会長】

・挨拶

協議事項（１）安塚区地域協議会としての審議内容について、事前の提出があったか事務局に確認する。

【竹内次長】

事前の提出はない。

【數井憲一会長】

この場でもよいが、委員の提案等を求める。

（「ありません」の声あり）

安塚区地域協議会としての審議内容について以上とする。

つづいて、報告事項（１）安塚区地域懇談会開催結果について、事務局に説明を求める。

【竹内次長】

資料「安塚区地域懇談会開催結果」により説明

【數井憲一会長】

委員に意見、質疑を求めるが、意見、質疑なし。

続いて、5その他について事務局の説明を求める。

【高橋主任】

資料 No.1 により説明

【數井憲一会長】

日程としては、1日又は、半日というコースが考えられる。委員に意見を求める。

【松苗正二委員】

テーマ1、テーマ2というのは、別々ということではなく、どちらかを選択するということか。テーマ2の②と③もどちらかを選択するのか。

【高橋主任】

はい。そのとおりである。ほかにあれば提案していただきたい。

【中島勝義委員】

いずれにしても、半日というわけにはいかないと思う。半日だと、話を聞いている時間が無くなってしまう。

【數井憲一会長】

1日という形で、協議を進める。

時期にもよるが、3年ほど前に長野県松代へ行って、非常に良かった。

時期は、いつ頃がよいか。

【長谷川直樹委員】

例年だと11月頃である。11月上旬辺りであれば、その頃がいいのではないかな。

【數井憲一会長】

11月となると第1週は忙しいので、第2週がよいと思う。

【小松光代委員】

以前すごく寒い時期に行った記憶がある。

【高橋主任】

4年前に12月19日に行っている。

【長谷川直樹委員】

松之山の布川地区へ行って、地域おこし協力隊の話聞いて、そのあと十日町市の池谷集落へ行ったとき、雪が降った。

【池田嘉久委員】

いろいろな意見があるかと思うが、1つのテーマに絞ってもらったほうが、良いのではないかな。テーマ1については、区内の現状ということで施設巡りだと思うし、テーマ2については、古民家の活用等の地域おこしである。私は、②の内容で苦労しているので、その辺で絞っていただいて、視察させていただけるとありがたい。

【數井憲一会長】

そのような意見もあるかと思うが、とりあえず日程を決めてから、内容の協議を行いたい。

では、事務局から日を決めていただけるとありがたいという話があったが、11月の第2週でどの日がよいか。

【長谷川直樹委員】

先方の都合もあると思うので、その週ということで、事務局に一任したらどうか。

【數井憲一会長】

事務局は、それで良いかな。

【高橋主任】

都合の悪い曜日がなければ、この週で日程を調整することとしたい。

【數井憲一会長】

日程が決まったが、内容はテーマ2の②が良いという意見があるが、ほかに意見はないか。

【松苗正二委員】

できれば、私はテーマ2の③のほうが先進的な気がする。

両方視察できれば、なおいいと思う。

【國保信夫委員】

今、②と③という意見がある。両方良いと思うが、ここに挙げる施設等だけでは、淋しい感じがする。③に決まったら、この地方で勉強になるような所を加えてもらいたい。

【數井憲一会長】

帰りに松代を通れば、松代で視察もできる。

【小松光代委員】

テーマ2に皆さんの意見が絞られているが、テーマ2の②か③どちらかに決めていただく方がよいと思う。

【數井憲一会長】

皆さんの意見はテーマ2がいいのではないかという意見が多い。ほかに意見を求める。

【石田ひとみ委員】

地域おこし協力隊について、細野町内会で取組があれば、③がいいのではないかと思う。

【小松光代委員】

私も石田委員の意見に賛成である。安塚区でも地域おこし協力隊について考えている集落があるということであれば、③の地域おこし協力隊の話聞くのがいいのかと思う。

【中村真二委員】

地域おこし協力隊とか移住者募集するとか、そういったことは今私が活動していることに関することなので、地域おこし協力隊の話聞く方向でお願いしたい。

【秦克博委員】

③で良いと思う。

【數井憲一会長】

それでは、③で計画を立てていただきたいと思う。事務局、よろしく願いしたい。

11月第2週、テーマ2の③を主体にして視察研修を行う。

次回開催日を決定する前に、私から話がある。

今まで、地域協議会の会議を行って、自主審議事項というのは、あまり提出されていない

かったように思う。このままだと市長の諮問機関だけになってしまう。それでは、この地域協議会もつまらないという思いがしてならない。詳しいことは分からないが、地域懇談会の内容も載っているので、それらを踏まえて、地域協議会でもこの地域を振興していくなど何とかしなくてはいけないという気がする。委員の意見を求める。

【中村真二委員】

私は初めてなので様子を見ようと思っていたが、視察の件でも地域おこし協力隊や移住者募集のことがテーマとなるようだったら、そういうことを自主審議にしてもいいかと思う。私は、今そういう活動をしている。先日、総合事務所に来てそういった活動をできないかと聞いたところ、今までの経緯の中で、よその人が急に入って来ても集落として困るような話があったり、集落として受け入れの対応が、きちんとした話し合いなどされていないため積極的ではないという話を聞いた。以前の空き家対応から何年か経って、更に人口が減少して集落も危機感を感じているかもしれないし、地域懇談会の結果の中で空き家の話も出てきたので、改めて集落単位などで移住者を募集してみる気はあるかなど、そういうものを調査するとか、意見を集めるなどしてもよいのではないかな。

【數井憲一会長】

要するに、集落の意向を調査するということか。

【中村真二委員】

はい。それで、先ほどの細野の地域おこし協力隊を募集しようかという話がでていうことを聞いたが、その他にも集落の意向など情報が集まってくるといいかと思う。

【數井憲一会長】

非常に良い意見だと思う。皆さんの意見を汲み上げることは非常に大事なことだと思う。何とか方法を考えると、いろいろな意見があがってくると思う。その方法をどうしたらいいかと思う。

【中村真二委員】

私の活動は上越市全体の中で有志で活動している。今板倉区でお試しハウスのシェアハウスを造るということで、板倉区の北折さんが空き家を購入して、私たちにそういう運営をしないかという話をいただき、今準備していて来年の春くらいから、稼働させたいと思っているところである。先ほど、地域懇談会にでてきたような空き家の活用という話があれば、そういうグループもあるので、例えば移住者募集のためのシェアハウスやゲストハウスをやってみようかということが、地域の中で了承が得られれば動けるかと思う。そういった調査をしてもいいかと思う。

それでも、やはりよその人が来て困るというのものもあるかと思うので、私たちも無理矢理入っていくこともできないので、そういうところでお互いに接点を持つようなきっかけづくりができればよいと思う。

【數井憲一会長】

おぐる町内会でも少し動きがある。また会議の中で議論を交わしていただきたい。

【長谷川直樹委員】

私も4年間地域協議会委員をさせていただき、自主審議が1件もなかった。自主審議らしいものはあったが、まとめができなかったという大きな反省がある。4年間の中で、1件でも2件でも地域協議会として自主審議をしたという結果を出さないと、地域協議会の存在意義がなくなってくる。先日、地域懇談会を行ったので、またすぐ地域協議会として懇談会を行うわけにはいかないと思うが、4年間の中で考えて、私たち委員が意見を出せなければ、他の人の意見を吸い上げるというのも一つの方法かと思う。地域懇談会の開催結果に内容も掲載されている。皆さんで検討すれば一番良いと思うが、検討委員会みたいなものを作って、少し煮詰めてどうしたらよいかという話をしてもよいと思う。

【國保信夫委員】

人口減少が問題になっているが、どうしてこうなったのか。皆さん同じ考えだと思うが、非常に結婚する人が少なくて結婚式が少なくなった。今までは、年に何回か呼ばれていたものだ。実際、安塚区でも独身の方が多い。独身の方が家庭を持てるような環境を作ってあげたりして、1組でも2組でも多くできたらと思う。そういったものを考えていったらどうかと思う。

【數井憲一会長】

なかなか難しいことだと思うが、いい取組だと思う。この後検討していく中で、課題の一つとして挙げていければよいと思う。今、農協で結婚相談所のようなものはあるのだろうか。

【中島勝義委員】

実は、農協の取組で結婚相談員というのを1期務めさせていただいた。残念ながら、結婚ということには、つながらなかった。人間の価値観等は個人によって違うものだから、なかなかいい相手が見付からない。農協ではパーティーみたいなものを計画して1年に1回くらい行うが、その際に男性の方が積極性がないという話があった。そのためか、結婚される方が非常に少ない。結果、農協もこの取組をやめてしまった。

【數井憲一会長】

NPOもやっていないか。

【中島勝義委員】

NPOもやっていないと思う。

【小松光代委員】

昨年、糸魚川市でそういった先進的な取組をしているということで、視察研修に行つて、いろいろ話を聞いてきた。パーティーとかツアーとかを企画しながら、その中から何組かカップルはできるが、結婚に至るまでがなかなか難しいという話を聞いた。結婚の相談員みたいな方がいるが、個人的なところでどこまで介入できるかとか、相談員同志の連携がなくて、ここにこういう方がいるなどの情報交換も必要ではないかという話も聞いて、結婚ということ自体なかなかデリケートな問題ではあるが、パーティーやツアーなどそういう機会も必要かと思う。

【國保信夫委員】

私の体験談ではあるが、離婚を経験された45歳の女性がいた。私が、秋田県在住の車の運転手をされていた男性と知り合いになった。その男性も離婚を経験されていた。その2人を私が紹介した。そしたら結婚することになった。住んでいるところが近くというのが、よくないかもしれない。たまたま秋田県の男性だったので良かったのかもしれない。

【數井憲一会長】

上越市でも組織の一つとして、結婚相談員のようなものを作ることも可能か。

【山崎所長】

作ることは可能かと思う。しかし、民間で結婚相談所があったり、今ほどお話があったようなパーティーを開催している。民間でやっているものに市が入っていくと邪魔をするような形にならざるを得ない状況もあるということも考えられるので、難しいのではないかと思う。

【小松光代委員】

糸魚川市は、民間の結婚相談所とタイアップしてやっているようだ。

【山岸重正副会長】

地域懇談会の開催結果に結構良い意見がある。地域の声があるのでこの中から課題を抽出することが、一番大事だと思う。委員同士の意見を気軽に話し合える場を作っていただけるとありがたい。

【數井憲一会長】

意見もいろいろ出てきたが、自主審議は1年で決めなくてはいけないとか、4年で決めなくてはいけないとかではなく、一つの案を出していければよいと思う。今後、意見交換をする場を持って、自主審議事項を見出したいと思っているが、委員の意見を求める。

【山岸重正委員】

一番大事なことは、この資料にあるが、竹内先生が辞めてしまうこと。そうすると安塚区には医者がいなくなる。次の医者を見つけるのもなかなか大変だと思う。皆さんから意見を出していただきたい。医者がなくなれば、高齢者は本当に困ると思う。

【數井憲一会長】

そういったことも含めて協議していければよいと思う。

【中島勝義委員】

各集落の意見等が出ているので、この資料を基に皆さんで勉強していただき、それから地域協議会で協議するものがあれば、協議していければよいと思う。

【數井憲一会長】

一つの方法としてよいと思う。今、中島委員から話があったが、地域懇談会の内容を踏まえて、次回皆さんの意見を持ち寄っていただき検討することでよいか。

(「はい」の声あり)

【長谷川直樹委員】

次回、地域懇談会の内容についてもう一度質問等を受けるということか。

【中島勝義委員】

それぞれ個々に資料を基に勉強するということである。それで、ここが大事だと思うところは皆違うかもしれないが、その中でテーマを決めて協議していくとなれば良いと思う。

【數井憲一会長】

まだ私の話が途中であるが、全体でそういった話を進めていった方がよいか。あるいは、長谷川委員から話があったように検討委員会を作って、いろいろな意見をまとめた上で検討していき、協議内容を決めていくという意見もあったが、その辺はいかがか。

【松苗正二委員】

長谷川委員のおっしゃるように検討委員会を作って集約した中で密な話をして、全体会議に諮るという解釈をしたが、12人の委員がいる中で、そんなに人数も多くないので委員全員で検討できる気がする。地域協議会は月1回の開催では難しいということな

ので、出来るのであれば地域協議会とは別の場で、12人の委員で検討していきたい。

【小松光代委員】

松苗委員がおっしゃるように12人の人数の中で、あえて分けなくてもよいと思う。検討するときにはもう少し机を寄せ合って、近い距離でいろいろ話ができれば、12人の知恵というのにも出てくるかと思う。

【池田嘉久委員】

話を前に戻って、私たちが地域懇談会に出て意見を吸い上げることも大切かと思うし、ここでいろいろな意見が聞けるのかなと思うのが一つある。それが悪いか良いかは、行政で判断していただければよいかと思う。地域協議会ではない場で12人が集まって、膝を寄せ合い話し合えると忌たんのない意見も出るかと思う。

【秦克博委員】

地域協議会とは別に12人で集まって話をするということなのか。

【中島勝義委員】

地域協議会というのは、月1回とは決まっていない。

【數井憲一会長】

原則として月1回であり、月に2回行っても良い。

【山崎所長】

私どもも会長始め皆さんが言われるように、ぜひ自主審議をしていただきたいと考えている。理由は、この地域を良くしてもらうには、地元の皆さんから地元の課題を捉えていただき、少しでも良くするにはどうしたらよいかということを審議していただきたい。そのために私どもとしては、できるだけ情報を出していきたいと考えている。今日は、この会議終了後に勉強会という形で、皆さん安塚区の方だが知らないところもあるのではないかと考え、安塚区の概要をデータで示すこととしている。

今ほど説明した地域懇談会の内容も地域の課題が出てきているので、そうしたことも参考にしていきたいということから、地域懇談会の情報を提供させていただいた。このような情報をできるだけ皆さんにお示ししながら、その中で課題をそれぞれ委員さんから見付けていただく。問題意識を持っていただく。こういったものを自主審議事項のテーマとしてはどうかというものを、それぞれ出していただく。そうした手順を踏みながら進めていったらどうかと考えている。

今ほども話があったが、基本的には地域協議会の開催は月1回である。しかし、勉強会を行うということであれば、別の日に設けることもできるし、通常地域協議会終了後

も勉強会をしていただくこともできる。その辺をお含みいただきながら、皆さんの方で決めていただきたい。

【數井憲一会長】

所長からいろいろ説明があつたが、私は、今日決まるとは思っていない。それで地域懇談会の内容を踏まえたり、皆さんの考えを取り入れたりし、次回までに皆さんの考えをまとめていただき、次回に聞かせていただきたいと思うがよいか。

（「はい」の声あり）

それでは、次回の皆さんの考えをお聞かせいただきたいと思う。

よろしく願いしたい。

次回開催については、8月23日火曜日19時から開催する。

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線23）

E-mail: yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。